

プログラム

<世話人会> 12:00～12:50 (3F会議室)

<標本展示> 13:00～14:45 (第3実習室)

<口 演> 14:55～16:45 (第3実習室)

14:55～15:00

開会の辞：大阪府済生会中津病院 神経内科 山本 徹先生

セッション1：座長 山本 徹先生 (大阪府済生会中津病院 神経内科)

15:00～16:00

1. 多発性骨髄腫の経過中，多彩な神経症状をきたした一剖検例

○井上貴美子¹⁾，森千晃¹⁾，山寺みさき¹⁾，山口浩司²⁾，須貝文宣²⁾，藤村晴俊¹⁾，佐古田三郎¹⁾

1) 国立病院機構刀根山病院 神経内科

2) 国家公務員共済連合組合会 大手前病院 神経内科

2. 残存運動ニューロンに粗面小胞体の過形成を認めた lower motor neuron disease の1剖検例

○新宅雅幸¹⁾、金田大太²⁾

1) 大阪赤十字病院 病理診断科、2) 同 神経内科

3. 食欲不振とパーキンソニズムで発症し、急速に意識レベルが低下した白質脳症の一例

○隅寿恵¹⁾、廣澤太輔¹⁾、森谷真之³⁾、別宮豪一¹⁾、本間圭一郎²⁾、中森雅之¹⁾、三原雅史¹⁾、望月秀樹¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科神経内科、2) 同附属病院病理部、3) 市立豊中病院神経内科

セッション2：座長 井上 貴美子先生 (国立病院機構刀根山病院 神経内科)

16:00～16:40

3. MSA-P+A に Lewy 病変を合併した高齢者剖検例

○伊東 恭子¹⁾、丹藤 創¹⁾、吉岡 亮²⁾、大道 卓麻²⁾、伏木 信次¹⁾

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学

2) 国立病院機構舞鶴医療センター 神経内科

4. 「老人性精神病」と診断され、経過中 tardive dyskinesia 等を呈した、死亡時 93 歳女性の TDP43-proteinopathy の剖検例

○堀 映、橋詰良夫、赤津裕康

福祉村病院

16:40～16:45

閉会の辞：京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学 伏木 信次